

# 人材の確保と育成 広島県鉄構工業会(会員数80社)



広島県鉄構工業会  
構工業会  
(理事長)  
山本泰徳・  
ステントス

社長)は5月25日、広島市南区のホテルグランヴィア広島で通常総会を開催した。議事では「建築鉄骨の製作を通じ、安心・安全な製品を市場に供給し続け、人命と財産を守る」という認識のもと①人材の確保・育成②鉄骨の技術開発を含め



協同組合広島県鉄構工業会 第50回通常総会

た最新技術取得と普及③青年部のさらなる活性化④ファブの社会的認知・地位の向上⑤支部会活動の一層の充実――の5項目を重点とする事業計画案を承認した。最優先事項とする人材確保では、業界のイメージアップを図るとともに働き方改革への対応を踏まえた労働環境の整備を進める。また、青年部については事業を継続支援し、次世代の人材育成に努める。

## 広島県鉄構工業会

### 100人が集い50年の節目祝う

#### 「リーダーの気概持つて」

広島県鉄構工業会(理事長山本泰徳・ステントス社長)は5月25日、広島市南区のホテルグランヴィア広島で創立50周年記念式典・祝賀会を挙行。全国鉄構工業協会の永井毅会長(永井製作所社長)や湯崎英彦(広島県知事、関連の団体・企業関係者、組合員ら100人が出席し、50年の節目を祝った。



山本理事長(左)と永井会長



湯崎知事

式典の冒頭、創立から現在までの歴史を紹介する記念動画を上映。その後、山本理事長はあいさつで「ファブ業界は世代交代が進んでい。その中で先人たちが苦闘して作ったものを守りつつ、新しい技術を取り入れたい。日本の安全な建築にはファブが必要不可欠なリーダーという強い気概を持つてまい進していきたい」と力強く宣言した。続いて、湯崎知事は「建設分野ではデジタル技術とデータの活用によって新たなイノベーションが起きている。皆さんが高度な知見と経験を生かし、建築物の安全・安心の確保に一層尽力することを願う」とした。



組合員一同で記念撮影

永井全構協会長は「貴組合が取り組んだ公共工事の見積もり有料化や鉄骨技術の研修、研究開発、共済事業の推進はファブの社会的地位の向上につながっている。全構協としても次世代を担う人材育成などの取り組みを一層進めるため相互の連携を強化し、業界のさらなる発展に努めたい」と述べた。

また、組合事業貢献者として元理事長の中島秀晴・三和鉄構建設会長、理事経歴15年以上の山本理事長、藤井徳隆・入江工業社長、井上喜三郎・中国鉄構建設社長、境谷正昭・境谷工業社長、永谷仁成・永谷鉄工社長の計6人を表彰した。

その後、空手家の岩本衣美里選手が演武を披露。白田学・日本製鉄中国支社長が来賓あいさつし、松尾彰・広島大学名誉教授の乾杯発声で祝賀会を閉じた。